

きらふ、九十月比、日向よき所に植てまはりと上をかこひ、寒氣をふせぐべし、暖なる日は晝の間時々日をあつべし、まからざれば春に成りてかる、ものなり、三月中旬比、砂黒土にて鉢に植かへ、油かすか又は魚の洗汁などかけて、やしなふべし。

〔剪花翁傳三月開花〕土圭艸 花八重、一重、形鐵線風車に似たり、色此二種より濃し、開花四月下旬より五月上旬迄あり、分株春彼岸よし。

秋海棠

〔書言字考節用集生六〕秋海棠シウカイダウ古詩云、娟々秋海棠、人斷腸草、見遵在八牋。

〔大和本草七〕秋海棠 名花譜曰、一名斷腸花、嬌冶柔軟、真如美人捲粧、性喜陰、見日即瘁、九月收枝上黒子撒於地上、明春發枝、老根過冬者花發更茂、寛永年中中華ヨリ初テ長崎ニ來ル、ソレヨリ以前ハ本邦ニナシ、花ノ色海棠ニ似タリ故ニ名ヅク、其葉左ニ顧ルアリ、右ニ顧ルアリ、他草ニ異ナリ、第一葉左ニ顧レバ、第二葉ハ右ニ顧ル、上下カハル、左右ニ顧ル、六七月花ヲヒラク日ヲ畏ル、日ニアヘバ色變ズ、陰地ニウフベシ、日アテニウフレバ枯ル、北ノ屋カグ垣根ニ宜シ、間ヒロクウフベシ、葉大ナル故ナリ、沙土ヲ好ム、黃硬土ニ宜カラズ、零餘子ニ似タル小子アリ、子ヲマキテ生ズルハ、二年ニシテ花サク、或曰、子ヲマキテ糞ヲソ、ゲバ、當年花サク、宿根ヨリ生ズルハ年々サク、大風ニ破レヤスシ、七月初ヨリ小竹ヲ立テ助クベシ、花鏡曰、爲秋色中第一、又曰澆糞即萎。

〔和漢三才圖會九十四末〕秋海棠 爛腸草略中

按秋海棠莖葉略似欵冬、而小軟有艶、梗帶赤色、抽莖開花似蕙蘭玉簪花之輩、而淡紅可愛、其子生枝葉間、形色似零餘子、而大如豌豆、種之易生。

仙人掌

〔書言字考節用集生六〕仙人掌サツホウ又作伯蓮生八牋、如掌、色翠綠。

〔大和本草七〕霸王樹 花史ニ出タリ、葉ナクシテ其形枇杷葉ノ如クニシテ厚ク、肌ハ胡瓜ノ如シ、枝ヲ生ジテ又枇杷葉ノ形ノ如シ、多疣子、其頂ヨリ生、小葉コトアリ、高至二三尺、ヲリテ挾セバ